

請 願 書

鳩山由紀夫内閣総理大臣殿

年 月 日

日本解体法案である「靖国神社代替施設」について反対いたします。

【反対理由】

< 1 > 代替施設は靖国神社の代わりに成りえない

我が国を守る為に亡くなられた御霊の集う、唯一無二の場所こそが靖国神社です。新たな国立追悼施設の建設は、靖国神社の存在、すなわち日本人の心の拠り所を根本から否定する事ではなく、慰霊に現在靖国を訪れている人たちが、今後、代替施設を訪れるとは考えられません。

< 2 > 税金の無駄遣いである

靖国神社への参拝者数は年間約600万人、なかでも終戦記念日は1日だけで20万人にのぼります。そのような状況下において、国家間の外交で、目先の解決のために安易な妥協や卑屈な迎合はすべきではありません。隣国の反発を避けるための代替施設を提案し、我々国民の税金を使う事は、無駄遣い以外の何物でもないと考えます。

< 3 > 首相の参拝行為は、政教分離原則に違反しない

代替施設の根拠は“日本国憲法における「政教分離原則」に反しないよう宗教性を排除する”というのですが、慰霊が宗教行為である以上、無宗教の施設で鎮魂というのは矛盾しています。宗教勢力の政治への干渉を禁じるのが政教分離の真意であり、儀礼としての首相の靖国神社参拝は違憲ではありません。従って、国の要人が参拝するために建設する無宗教の国立追悼施設は必要無いと言えます。

以上

住所：

氏名： (印)

年齢： 歳